

(通算第 133 回)

令和 7 年 第 6 回京丹後市議会 (12 月定例会)一般質問通告表

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
1	政溪会 東田 真希	1 空き家問題の対応強化を (1) 現状の評価と今後のさらなる強化に向けた市の認識は 2 幼少期からの読書習慣を育む支援を (1) 現在行っているブックスタート事業に加え、さらに充実させるための次のステップとして、ブックセカンドの検討を 3 歳出抑制下における新規事業の検討方針について (1) 新規事業は、優先順位を明確にし、慎重に行うべきと考えるが、市はどのように判断・検討しているのか 4 都市計画税で安定したまちづくりを (1) 導入されていない理由と今後の検討は	市長 市長 教育長 市長 市長
2	政溪会 和田 晋	1 本市が目指す観光の方向性を問う (1) 第4次観光振興計画に基づき、本市観光の現状と課題を問う (2) 観光資源の保護と受入環境の整備について問う (3) 京丹後市観光公社の存在価値を高めるために (4) 観光産業への積極的政策投資と、その財源確保の方向性を問う (5) 今後の観光政策について	市長
3	政溪会 小牧 裕幸	1 財政強靭化戦略(指針)について (1) 人件費について、厳しい財政状況の中、今後も人事院勧告による人件費の上昇が想定されるが、どのような抑制策、効率化策を講じていくのか、具体策について(人員の削減?) (2) 歳入について、宿泊税や日帰り入湯税をはじめとした目的税の導入など新しい経済活動やサービスに対する税を検討・実施する。とあるが、現在検討中の具体策の有無について (3) 人口減少による市税の減収、合併特例債の活用期限を迎えるなど、令和8年度以降は厳しい財政運営をしなければならない状況にある。歳出を抑え、歳入を増やす具体的な計画があれば、伺いたい (4) 市民と共有すべき財政課題や、政策検討上における市民への説明責任の果たし方を、どのように考えているか	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
3	政溪会 小牧 裕幸	<p>2 人口ビジョン(規模的指標)について</p> <p>(1) 人口ビジョンに掲げる目標値(将来推計)が示されています。市として、現在の人口減少をどのように分析されているのか</p> <p>(2) 出生率の本市の最大経験値2.3程度まで向上、回復を目指すとあるが、近年の実績、見通しについては</p> <p>(3) 転入増・転出減の社会増を着実に進め、25歳～49歳の人口移動率を5年ごとに5%ずつの向上、50歳～70歳の人口移動率を5年ごとに1%ずつ向上すること、とあるが、具体的な施策の内容とそれぞれの目標の数字と見通しについてお示しいただきたい</p> <p>(4) 2060年の人口ビジョン46000人程度は、実現可能な数字なのか、京丹後市まち・ひと・しごと創生ビジョンの進捗状況を踏まえて、具体的な根拠(施策・取り組み・考え方)をお示しいただきたい</p> <p>(5) 今後、大型施設(クリーンC・最終処分場等)の建設が予定されているが、この人口ビジョンの人口推計をもとに計画がなされるのか</p> <p>(6) (5)が人口ビジョンの人口推移予測を根拠の事業計画は、予算規模にも直結するので、見直し、再考が必要と考えるが、お考えは</p> <p>3 職員の確保、現状について</p> <p>(1) 過去3年間の採用計画と採用実績と本年度の採用見通しについて</p> <p>(2) 実績、見通しについて、傾向、課題について</p> <p>(3) 一方、中途退職者、休職者の過去3年間の実態、傾向について</p> <p>(4) 中途退職者、休職者の削減に向けての取り組み、課題について</p> <p>(5) 時間外労働の縮減は、これまで監査の方から指摘もあり課題であるが、現在改善しているか、具体的取り組みについて</p> <p>(6) 第5次行財政改革推進計画の施策の主な内容の中で、市役所のDXの推進等・日本一働きがいのある職場づくりによる生産性の向上の項目がある。一部を除き本年度から具体的取り組みをされていると思うが、現在の進捗状況、課題について</p> <p>(7) 人材確保は、市政運営の根幹にかかわることであり、職員のライフワークバランスの観点からも最重要課題であると考えるが、お考えは</p>	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
4	政渕会 谷津 伸幸	1 水道水に起因するボイラー漏水問題と対策について (1) 網野町一部地域における水道水に起因するボイラー漏水の現状認識について (2) 原因究明のための専門調査と再発防止策について	市長
		2 住民参加の在り方と議会制民主主義について、市長の認識を問う (1) 審議会等の位置づけと議会の議決権について (2) 審議会等の運営実態について (3) 住民参加を促進するための改善策について	市長
		3 健康増進施設としてのプールの在り方と、既存ストックの有効活用について (1) 浅茂川温泉プールの「市民の健康を守る」という視点での総括は (2) 現行耐震基準に照らし合わせた耐震性能評価(Is値)の再検証は (3) 既存ストックの教育的活用についての検討は	市長 教育長
5	政渕会 櫻井 祐策	1 京丹後市の財政について (1) 京丹後市の財政強靭化戦略における市政の透明性と説明責任について	市長
		2 これからのまちづくりの基本構想について (1) 今後の都市拠点公共施設整備について	市長
6	政渕会 野木 教貴	1 夏季における安全・安心な登下校環境の確保と通学支援の充実について (1) 小学校スクールバス等通学支援事業について (2) 本市の熱中症対策ガイドライン等の整備について (3) 登下校中の実態把握と対応状況について (4) 登校後の児童ケア体制の整備について (5) 地域連携強化と新たな暑さ対策の提案について (6) 本市としての今後の方向性について	市長 教育長
7	政渕会 吉岡 正一	1 市長のまちづくり姿勢と市政運営について (1) 市長の考える市政とは何か (2) 市長は住民自治をどのように理解しているのか (3) 市長は地域コミュニティをどう考えているのか (4) 市長の考える市政運営はどういったことか	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
7	政溪会 吉岡 正一	2 浅茂川温泉プールについて (1) 京丹後市公営プールのあり方検討会議の結果と今後の方向性について (2) 公営プールと健康長寿について (3) 京丹後市の将来ビジョンと公営プールについて	市長
8	政溪会 池田 恵一	1 市長の政治優先順位は (1) 市民の声をどのように位置づけているのか。市民満足度、市民幸福度を調査されているのか 2 インフラ整備の今後について (1) 都市拠点 (2) クリーンセンター (3) 久美浜病院 (4) 網野交流施設	市長
9	日本共産党 田中 邦生	1 備蓄米機能の正常化と米の増産でこそ農業の存続 (1) 石破政権から高市政権で農政はどうなる (2) 「丹後の光」に込められた願いに応える農政を 2 公共交通の整備拡充を (1) 計画の将来像の実現へ (2) ライドシェア、Mobiの運行実績 (3) 住民の要望を踏まえ計画の前倒し実施を 3 米軍基地配備時から抑止力論をめぐる変容 (1) 東アジアの軍拡競争と抑止力論の変容 (2) 「非核三原則」の見直しに抗議し、「非核三原則」の堅持、法制化を求める	市長
10	日本共産党 橋本 まり子	1 市民の安全安心のための獣害対策と根本的課題である森林の保全について (1) 市内のクマ出没・被害の状況と、当面の市の対策の強化について (2) 国の新たな動き(緊急銃猟・ガバメントハンター・警察等との連携・補助制度)を踏まえた、 京丹後市の体制強化について (3) 包括的なクマ等野生動物対策の構築について (4) クマ等野生動物問題の根本原因の一つである「山の荒廃・林業の衰退」への中長期的な対応について (5) 子どもの通学の安全確保について (6) 「クマ遭遇時の行動と身を守る方法」について市民への周知と実践的な取組みの強化について	市長 教育長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
10	日本共産党 橋本 まり子	2 中学校部活動の「全入制度」見直しと「ゆる部活」など多様な活動の推進について (1) 中学校の「全入クラブ制度」について (2) 部活動を希望者制に改めると同時に、週1～2回程度の軽スポーツ・レクリエーション活動「ゆる部活(仮称)」を創設する方向性は 3 子ども達や多くの市民に戦争の悲惨さや、平和の大切さを語り継ぐために、今やるべき事は (1) 若い世代や多くの市民に平和への思いを語り継ぐ活動の推進について	教育長 市長 教育長
11	日本共産党 平林 智江美	1 途切れない発達支援を (1) 市の乳幼児健診で発達支援が早期に発見されるようになったが、その後の療育へのつなぎに時間がかかると聞くが状況は 2 気候危機と食品ロス・ゴミ減量の取り組みは (1) 学校教育での給食残渣の状況と食品ロスへの学習は (2) 食品ロスに対しての市民への啓発は (3) ゴミ減量の取り組みの状況は 3 帯状疱疹予防接種を65歳以上全ての市民に (1) 65歳から5歳ごとが助成対象であるが、市として、65歳以上希望者に助成する考えはないか 4 国保税の負担が大きい。これ以上の負担増にならないように (1) 令和8年度から資産割が廃止になるが、賦課率はどうなるか (2) 市民から国保税の負担が大きいと聞く。負担増にならないよう国の持ち出しを増やすべきと、知事会等と声をあげる要望活動を	市長 教育長 市長 市長
12	日本共産党 源 進一	1 丹後地区絹織物業最低工賃改定について (1) 前回改定以後の家内労働者の状況について (2) 2026年6月1日の発効にあたって、市としての対応について 2 漁港のトイレ設置について (1) 漁港内設置トイレの現状と周辺環境について 3 文化芸術施設について (1) 施設の補修・修繕等の管理について (2) 設備等に故障などの変更が生じた際の案内について	市長 市長 市長 教育長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
13	翔和会 山本 佑太	1 発達に不安を抱える子どもと家庭への支援体制の強化について (1) 初診待機期間と、国の理念から乖離した現状に対する市の危機認識について (2) 診断がつかない「はざま」の期間に親子が抱える孤立と不安を解消するための具体的な「出口戦略」の必要性について (3) 療育施設と保育現場の連携不足、専門的治療へのアクセス困難、当事者支援に関する情報格差といった構造的課題の改善について	市長
		2 市民参画を促す戦略的広報への転換について (1) 市民参画の機会損失や、若者・現役世代の市政離れを招いていると思われる。この課題認識について (2) 日常的に多様な世代の声を聴くプロセスの必要性について (3) 「お知らせ型」の現状から脱却し、「データに基づく戦略広報」「官民協働を促すオープンデータの拡充」「若者を惹きつけるSNS活用」という3つの改革の実行について	市長
14	翔和会 多賀野 一彦	1 本市・市立病院(弥栄病院、久美浜病院)の運営状況について (1) 現在の公立病院の置かれている現状 (2) 今後の病床の活用 (3) 今後の方向性	市長
15	翔和会 由利 彰基	1 夢を育み、未来へと繋ぐ京丹後の部活動 (1) 部活動の教育的意義と活動時間縮減・校外活動の課題について (2) 地域展開の実証事業から見える部活動の未来について	教育長
16	永井 友昭	1 都市拠点、地域拠点等について市の認識を問う (1) 都市拠点 (2) 網野地域拠点(交流センター) (3) 宇川の拠点(アクティブライフハウス) (4) 都市拠点と地域拠点の関係	市長
		2 市政の諸課題について (1) 市の職員の駐車場 (2) 「(株)くみはま県」 (3) 11/2(日)の弥栄町での熊の被害	市長

順位	質問者	質問事項	答弁を求める者
16	永井 友昭	3 米軍・自衛隊等に関わる問題 (1) 度重なる大規模な訓練 (2) 市民の安全・安心への脅威 (3) 特別注視区域について	市長
17	松本 聖司	1 定員管理計画等と財政規律について (1) 定員管理計画について (2) 全体の職員数と人件費について 2 防災計画等の対応について (1) 避難所に関する取組指針・ガイドラインの改定について (2) 防災基本計画の修正に対する対応について (3) 大規模地震に係る感震ブレーカーの必要性について	市長
18	鳴海 公軌	1 新クリーンセンター新設の場合、251億円～301億円との試算が示された。本市の構想と、京都府ごみ処理広域化プランについて問う (1) クリーンセンターの更新に向けて、基本構想が策定され、検討会が設置されること。 構想の説明と、検討会での検討課題は (2) 京都府においては広域化プランが示されているが、本市の見解は 2 新クリーンセンターにおける海岸漂着物処理について問う (1) 本市において、他市と異なり海岸漂着物の処理が課題となると考えるが、今後の展望は (2) 市長から国への要望について、本市が財政的支援を必要とする時期までの実現可能性について見解を 3 新クリーンセンター更新による都市拠点施設建設への影響について問う (1) クリーンセンターの更新を踏まえた財政見通しをどうするか (2) 上記を踏まえると都市拠点、地域拠点施設整備には財政的懸念が強いと考える。この状況下では建設を目指した推進よりも、まちづくりとしての本来の目的である各拠点エリアを中心としたエリアマネジメント(エリア内における必要な機能を住民で共有することや、拠点間の機能的接続の具体化)に、市のリソースを注ぐべきと考えるが、見解は	市長